

2024/9/10 池田良穂(大阪府立大学 名誉教授・客員教授)の
新クルーズ学
▶68◀

伊豆半島の東の海上に
並ぶ伊豆諸島は、一番大
きな伊豆大島を先頭に利
島(としま)、新島(に
いじま)、式根島(しき
ねじま)、神津島(こう
づしま)が点々と並んで
います。伊豆半島は静岡
県ですが、この島々は東
京都の所屬です。この島
々には東海汽船と、その
グループ会社の神新汽船
の貨客船が結んでいま
す。

梅雨明け間近の7月中
旬、船で伊豆諸島を廻っ
てみました。東京・竹芝
栈橋から東海汽船の「さ
るびあ丸」に乗船して神
津島まで行き、神新汽船
の「フェリーあぜりあ」
に乗り換えて下田に上陸

見えました。やがて、羽
田空港を右手に、さらに
川崎、横浜、横須賀の夜
景を見ながら東京湾を南
下して、浦賀水道を抜け
て太平洋へと乗り出しま
した。

伊豆大島では島の東側
にある岡田港に5時前に
到着しました。南西から
の風が強くて波が高く、

島の西側の元町の栈橋で
は船が揺れて人も荷物も
下ろせないためです。伊
豆諸島の島の多くには東
西に港があり、天候によ
って到着する港が変わり
ます。ちょうど朝日があ
がった岸壁にはたくさん
の乗客が降り、船のクレ
ーンがコンテナに入った
貨物を次々と岸壁に下ろ
しました。20分ほどの停
泊で出港し利島に向かい
ました。海上には白波が
たっていますが、8千総
トンの同船はほとんど揺
れずに航海しました。波
長の長いうねりがあまり
ないためです。

最終港の神津島でも、
荒天時の港である東の
多幸港に入りました。入
港直前の海岸では黒曜石
層と呼ばれる奇岩が見応
えがありました。下船し
て3時間ほど待って、下
田からやってきた「フェ
リーあぜりあ」に乗りま
しました。「さるびあ丸」に
比べるとかなり小さい船
なので、デッキから見
る海面が近くなり、よりダイ
ナミックな航海が楽し
めます。同船では、往路
とは逆の式根島、新島、
利島と回り、伊豆半島の
先端にある下田港まで航

の停泊時間はとても短い
のですが、この航海では
各島で100-150名
が下船し、港にずらりと
並ぶ民宿の車へと乗りこ
んでいきました。竹芝様
橋の客船ターミナルに
は、島に渡る前に必ず宿
を予約してくださいとい
うポスターが掲示されて
いました。シーズンに
は、島に來たけれど泊ま
る宿がないといった事態
があるのでしょうか。

最終港の下田港は、黒
船で來航したペリーが上
陸したことで有名で、船
で海から入ると感無量。
日本の夜明けをもちらし
た歴史を感じさせます。
ペリー上陸の地、そして
黒船を見に來た坂本龍馬
の像も港の公園に立つて
いました。下田は温泉で
も有名で、下船してホテ
ルに入って、温泉に浸か
り、名産の金目鯛の寿
司、焼物、あら汁を堪能
しました。

船の長旅がいやな人に
は、ジェットfoilと
呼ばれる高速船がお勧め
です。ほとんど揺れない
優秀船で、東京から大島
まで2時間弱、熱海から
だとわずか45分の航海で
す。

東京〜伊豆諸島〜下田

アイランドホッピング



神津島を出港して東京港
に向かう「さるびあ丸」

船の長旅がいやな人に
は、ジェットfoilと
呼ばれる高速船がお勧め
です。ほとんど揺れない
優秀船で、東京から大島
まで2時間弱、熱海から
だとわずか45分の航海で
す。